

「第5回川内川水系流域治水協議会」議事概要

合同開催：第8回川内川大規模氾濫減災協議会

第7回えびの大規模氾濫等減災協議会

令和3年3月に策定した「川内川水系流域治水プロジェクト」の推進に向けて「第5回川内川水系流域治水協議会」を開催しました。

今回の協議会では、「川内川水系流域治水協議会」の規約の改定を行い、協議会の下部組織として「川内川水系の総合的な内水対策を考える連絡会」の設置についての承認、および流域治水プロジェクトの更新内容を確認し、各関係機関の「行動計画」を策定しました。

また、流域市町の首長をはじめ関係機関で、令和3年7月出水の振り返りと取り組み等について意見交換を行いました。

開催概要

- 日時：令和4年3月14日（月）14：00～15：30
- 場所：薩摩川内市国際交流センター（web併用会議）
- 参加者：（※参照：協議会資料－議事次第）

議事内容

- ・「川内川水系流域治水協議会」の規約の改定（「川内川水系の総合的な内水対策を考える連絡会」の設置）について承認された。（※参照：協議会資料－2）
- ・川内川水系流域治水プロジェクトの行動計画について承認された。（※参照：協議会資料－4-1、4-2）
- ・流域治水プロジェクトの更新内容の確認を行った。（※参照：協議会資料－3）
- ・令和3年7月出水の振り返りと取り組み等について意見交換を行った。（※参照：協議会資料－5）

主な意見等

- ・令和3年7月出水では川内川の水位上昇が急激であったため、樋門・樋管の操作人への事前連絡が出来ずに十分な初動体制が取れなかった。
- ・線状降水帯を含めて、可能な限りの気象予報の精度向上と出来るだけ早い発表を是非検討して頂きたい。
- ・落雷等により防災行政無線が不能になった場合の対策が必要。また首長自らの声で避難等と呼びかけることで効果がある。
- ・夜中に「避難所を開設してください」との要望が多くあったが、高齢者の多い地域において、夜中に避難所へ移動させることが本当に安全なのか非常に悩んだ。
- ・避難については、避難所に逃げてくださいということだけではなく、自宅内の安全な場所に身を置いてくださいということを含めて、住民の皆様へ呼びかけている。
- ・危機管理型水位計は、身近な場所などの局所的な水位情報が確認できるため、同水位計の情報を自治会長、区長等を含めた住民の皆様へしっかり情報提供出来る仕組みをつくっていききたい。
- ・川内川の支川においても浸水想定図を検討頂く等、「内水ハザードマップ」の作成についても議論して頂きたい。
- ・流域の雨水貯留機能の向上として、土地改良区や水利組合等の用水路を活用することで効果をあげている。
- ・市町で可搬型排水ポンプの増設に取り組んでいきたい。



薩摩川内市長



伊佐市長



湧水町長



川内川河川事務所長



WEB参加機関



【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所 調査課

〒895-0075

鹿児島県薩摩川内市東大小路町20番2号

TEL 0996-22-3271